

## 東日本大震災を振り返って



あの大地震から3年が経ちました。

被害に遭われました皆様へ、改めて心からお見舞い申し上げます。

また、震災直後より国見町にお寄せいただきました全国の皆様からの義援金や支援物資、人員の派遣など温かいご支援に対しまして、心から厚く御礼申し上げます。

さて、我が国見町におきましては、いまだに東日本大震災や東京電力福島第1原子力発電所の事故からの復興の途上であり、除染対策、県北浄化センターの汚泥問題、健康管理調査、風評被害対策をはじめ、解決しなければならない課題を抱えています。この状況を打破し、安全・安心な「明るい、魅力あふれる国見町」を町民の皆様と一丸となって作り上げることが、引き続き、私へ課せられた使命であると考えています。

平成24年11月の町長就任以来、1年4月が経過しましたが、町民の皆様のご理解とご協力によって、町内6箇所に除染の仮置場を選定し、住宅除染を進めてまいりました。また、県北流域下水道浄化センターの汚泥問題については、飯舘村のご配慮により、減容化を行った上で、搬出できる見込みとなりました。この間の損害賠償につきましては、引き続き地域住民の皆様とともに、東京電力に対し、粘り強く要求してまいります。

さらに国見町の中核産業である農業の振興を図るため、国見町で生産された桃や、昨年出荷再開できたアンボ柿等のPRにも引き続き取り組み、風評被害からの払しょくに努めてまいります。

また、安全安心な町政の実現のため、被災した役場庁舎について、昨年9月に工事契約を締結し、平成27年2月の完成を目指して工事を進めています。さらに岐阜県池田町や北海道ニセコ町などの間で「災害時相互応援協定」を締結し、大災害時の相互応援を行うことといたしました。あわせて、「災害時における緊急輸送及び物資拠点の運営等に関する協定」、「災害時におけるLPガス等の供給協力に関する協定」、「福祉避難所協定」をそれぞれ関係する事業者の方々と締結し、今後に備えることとしました。

大規模災害から身を守るには、日ごろからの備えは言うまでもなく、自助の考えが重要であることがクローズアップされております。さらに共助・公助を併せてバランスのとれた防災が必要であると考えているところであります。

町では、国見町東日本大震災検証委員会における検証作業の結果について、今後は地域防災計画の見直しへ反映させるとともに、自然災害への対策マニュアルを策定し、より「安全安心」なまちづくり実現に向けた推進体制の整備を図ってまいります。

平成26年3月11日

国見町長 太田久雄

# 目次

写真で見る震災の記録 .....	3
国見町の概要 .....	15
東北地方太平洋沖地震の概要	
・ 地震の規模 .....	19
・ 余震の状況 .....	19
東北地方太平洋沖地震の概要	
・ 町における被害の状況 .....	20
・ 災害対策本部の設置 .....	22
検 証	
・ 国見町東日本大震災検証委員会.....	31
・ 「東日本大震災に関する意見募集」集計結果 .....	34
・ 国見町復興計画（概要版） .....	78
・ まとめ.....	83